

# 調査から見えてきた課題について

## — 匝瑳市在宅介護実態調査データの 集計・分析結果より —

# 目次

1. 在宅生活の継続のための支援・サービスの提供体制の検討
2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討
3. 介護保険以外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討
4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

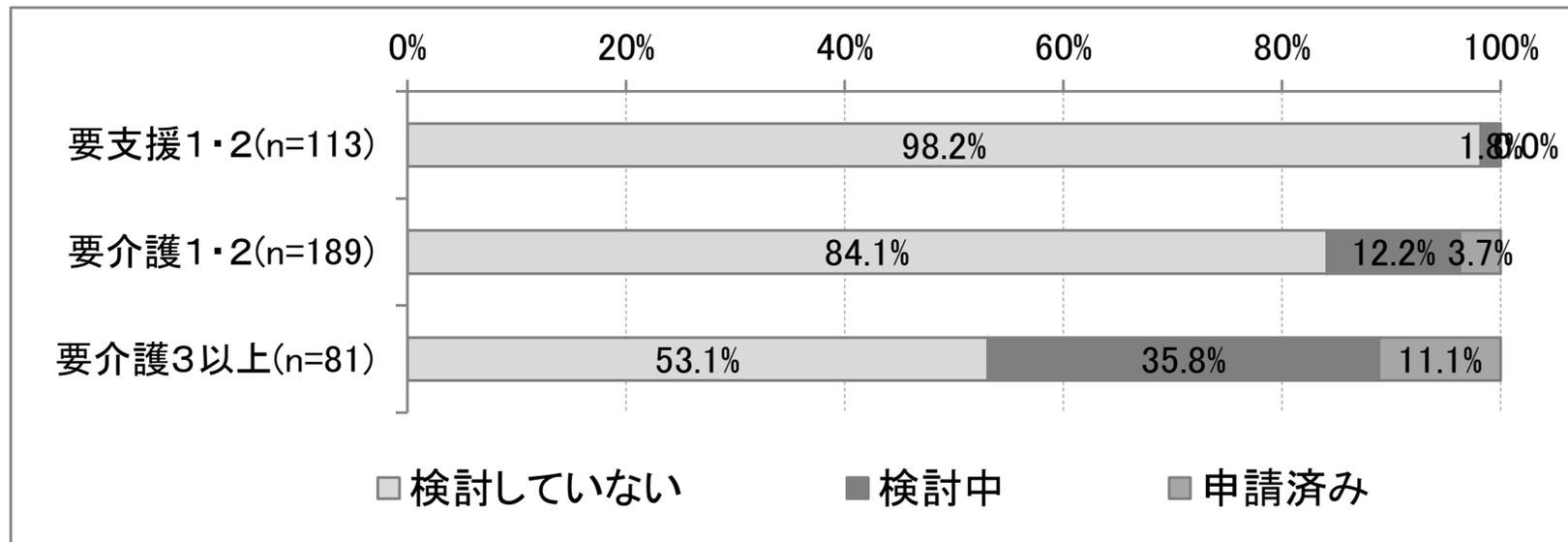
# 1 在宅生活の継続のための 支援・サービスの提供体制の検討

## 検討テーマ1：在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向①】

「施設等に申請済み」の割合は、要介護3以上で11.1%

- 要介護度別の「施設等検討の状況」をみると、要介護度の重度化に伴い「申請済み」の割合が高くなっており、要支援1・2では0%、要介護1・2では3.7%、要介護3以上では11.1%となっています。
- なお、「検討していない」の割合の減少幅は、要支援1・2(98.2%)から要介護1・2(84.1%)になる段階で▲14.1ポイント、要介護1・2(84.1%)から要介護3以上(53.1%)になる段階で▲31.0ポイントと大きくなっています。

図表 要介護度別・施設等検討の状況

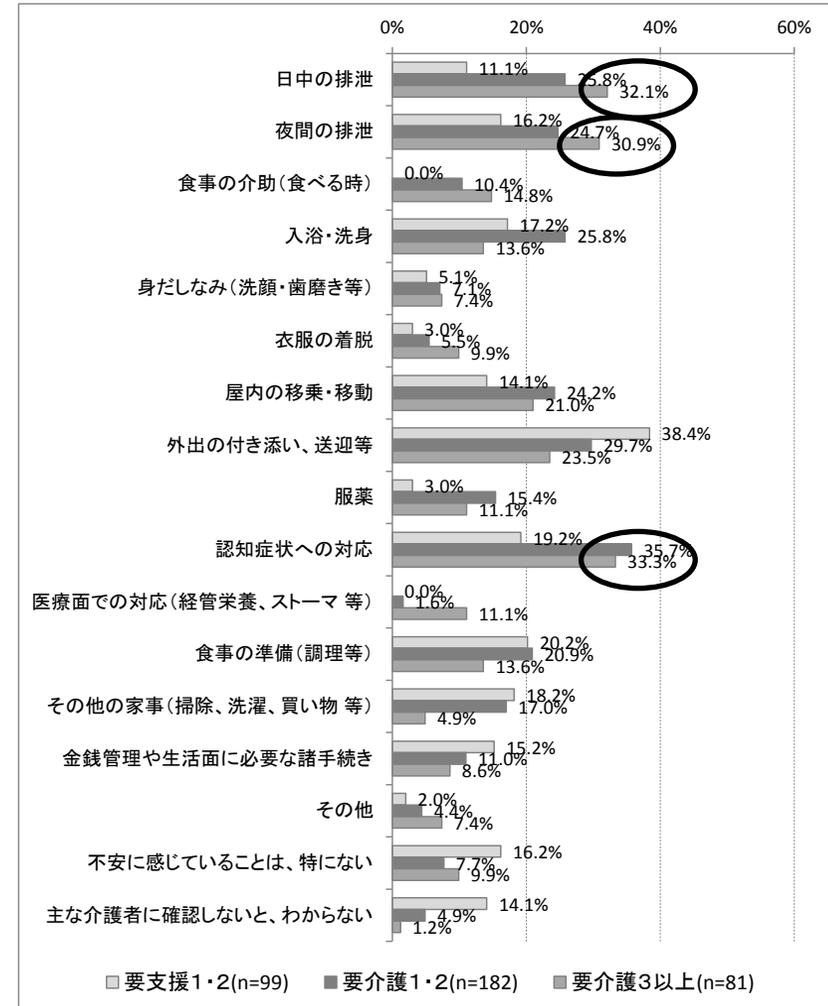


## 検討テーマ1：在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向②】

主な介護者が不安を感じる介護は、要介護3以上では「認知症状への対応」「排泄」

- 「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護」について、要介護3以上では、「認知症状への対応」と「排泄」について不安が大きい傾向がみられました。
- したがって、要介護3以上では、主な介護者が「在宅生活の継続が困難」と判断する重要なポイントとして、「認知症」と「排泄」の2点が挙げられると考えられます。

図表 要介護度別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)

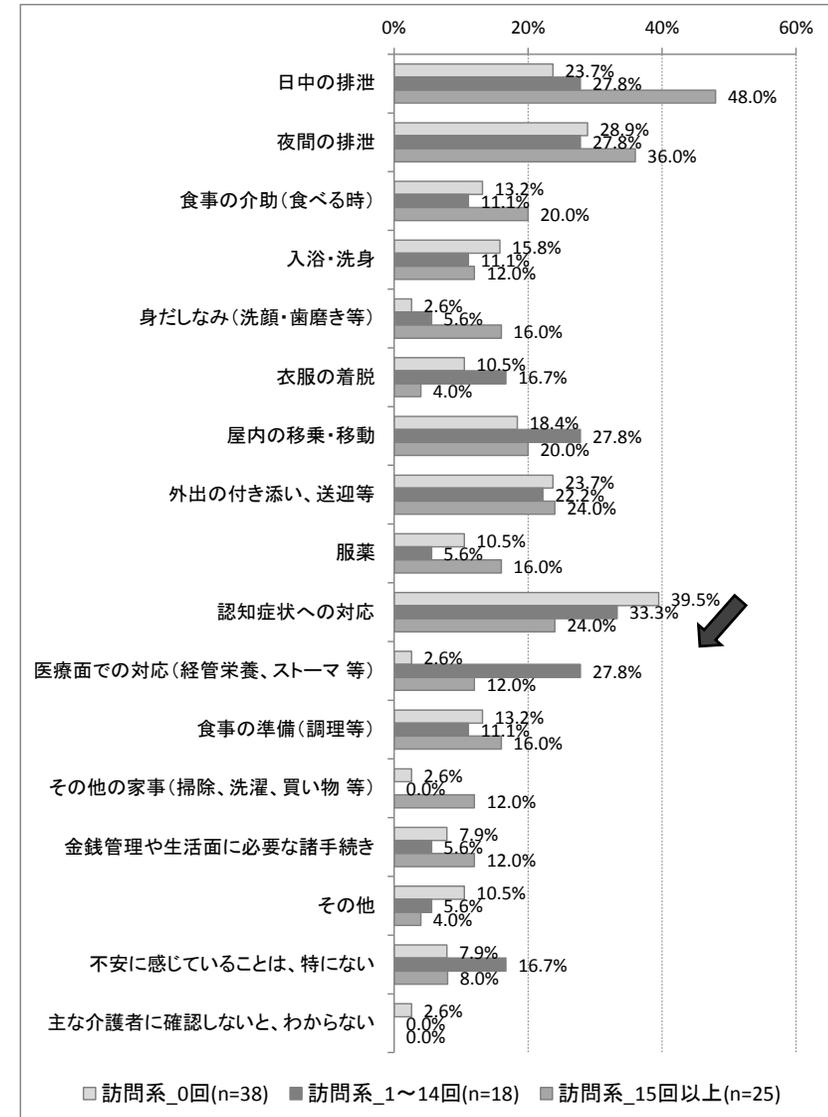


# 検討テーマ1：在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向③】

## 「訪問回数の増加」に伴い、介護者の「認知症状への対応」の不安が軽減

- 在宅生活の継続に向けて、介護者が不安に感じている介護としては「認知症状への対応」と「排泄」が高い傾向がみられました。
- 「介護者が不安に感じる介護」と「訪問系サービスの利用回数」の関係を見ると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「認知症状への対応」について、介護者の不安が軽減する傾向がみられました。

図表 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)

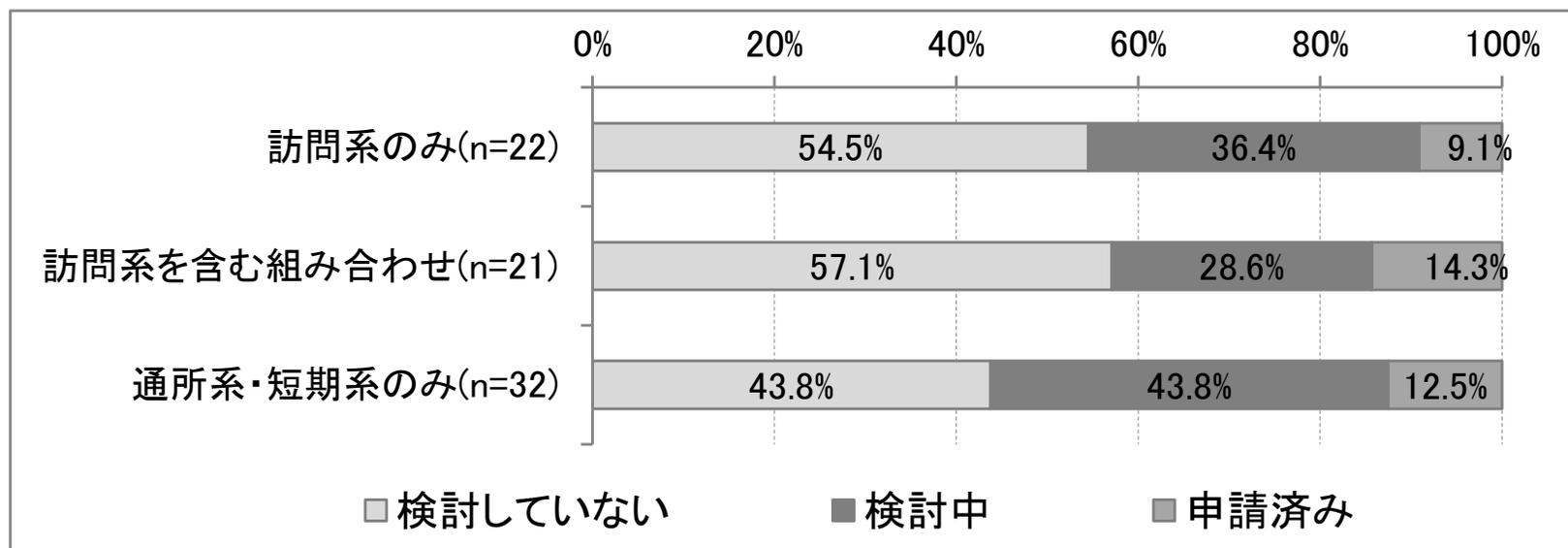


## 検討テーマ1：在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向④】

### 「訪問系」サービスを利用する方は、「施設等の検討・申請割合」が低い

- 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係をみると、訪問系サービスを利用する方は、「施設等の検討・申請割合」が低い傾向がみられました。

図表 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)

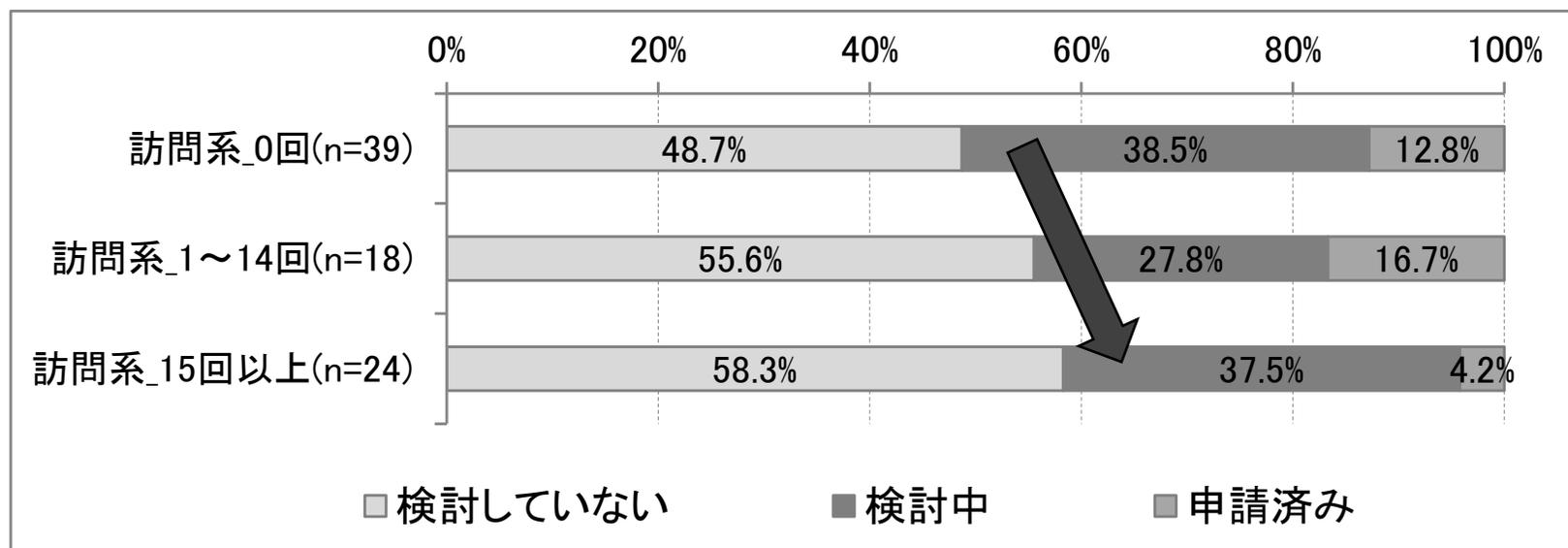


## 検討テーマ1：在宅生活の継続のための支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向⑤】

### 「訪問回数増加」に伴い、「施設等の検討・申請割合」が減少

- 「訪問系サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」との関係を見ると、要介護3以上では、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「施設等の検討・申請割合」が減少する傾向がみられました。
- 中重度になっても「在宅で生活を継続できる」と考えている人は、「在宅生活の継続は難しい」と考えている人と比較して、訪問系サービスの利用回数が多い傾向があると考えられます。

図表 サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)



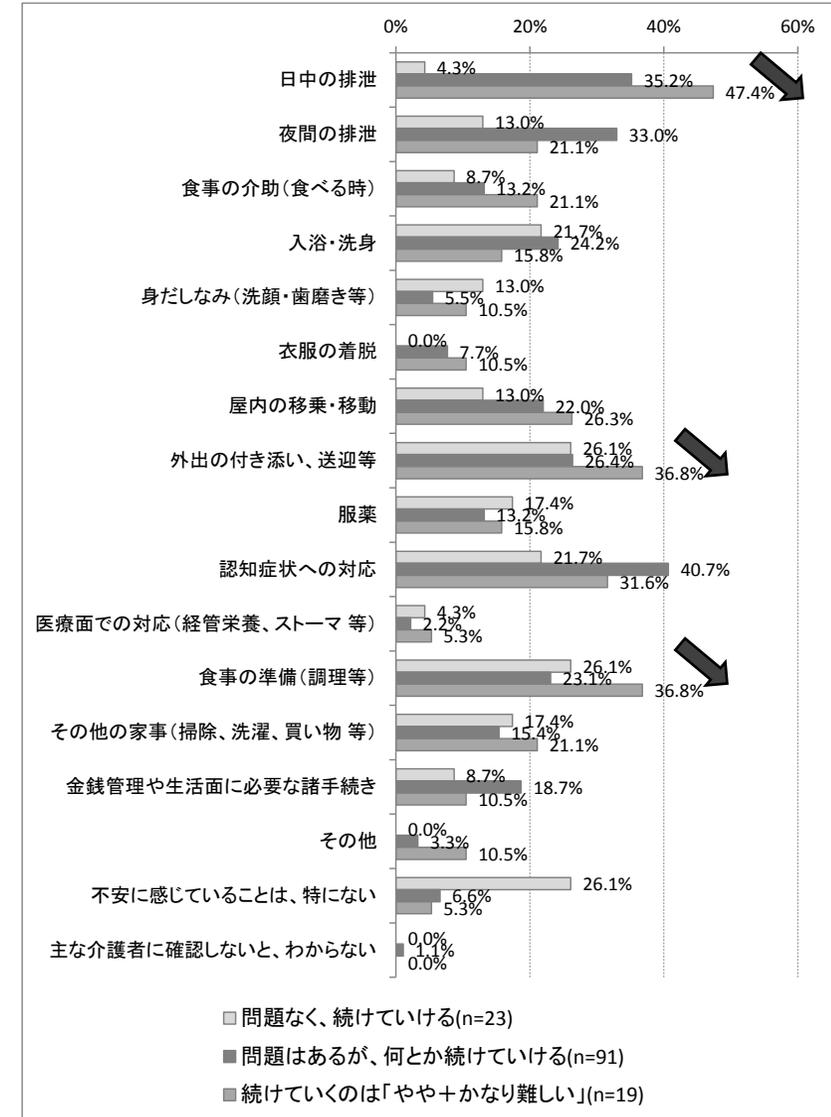
## 2 仕事と介護の両立に向けた 支援・サービスの提供体制の検討

## 検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向①】

就業継続が困難と考える介護者が不安を感じる介護は、「日中の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備」が高い

- 「就労の継続の意向」と、「今後の在宅生活継続に向けて、主な介護者が不安を感じる介護」の関係を見ると、就労継続が難しいと感じるにしたがって、「日中の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」について、不安を感じる割合が高くなる傾向がみられました。
- これらの介護が「在宅生活を継続しながらの就労継続」について、介護者が可否を判断するポイントとなっている可能性があります。

図表 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

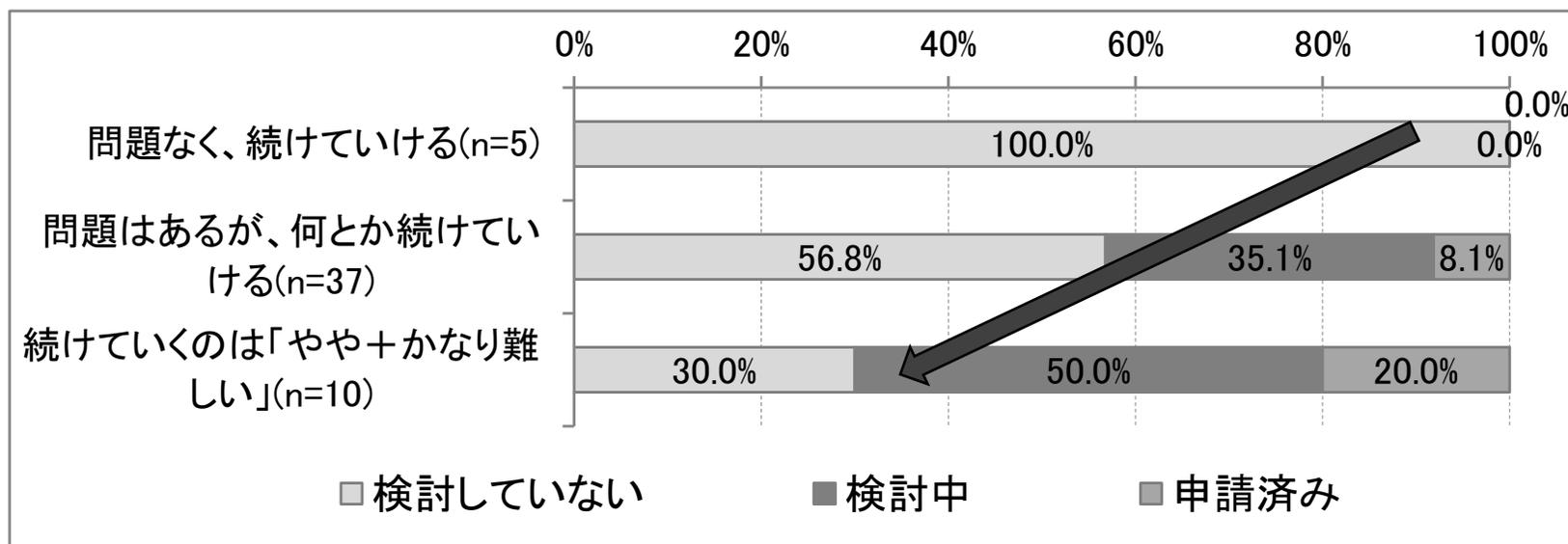


## 検討テーマ2：仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制の検討【集計結果の傾向②】

### 就業継続が困難と考える介護者は、「施設等の検討・申請割合」が高い

- 「就労継続の意向」と「施設等検討の状況」の関係をみると、就労の継続が困難と考える介護者は、「施設等の検討・申請割合」が高く、在宅生活の継続がより困難であると感じているという傾向がみられました。

図表 就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



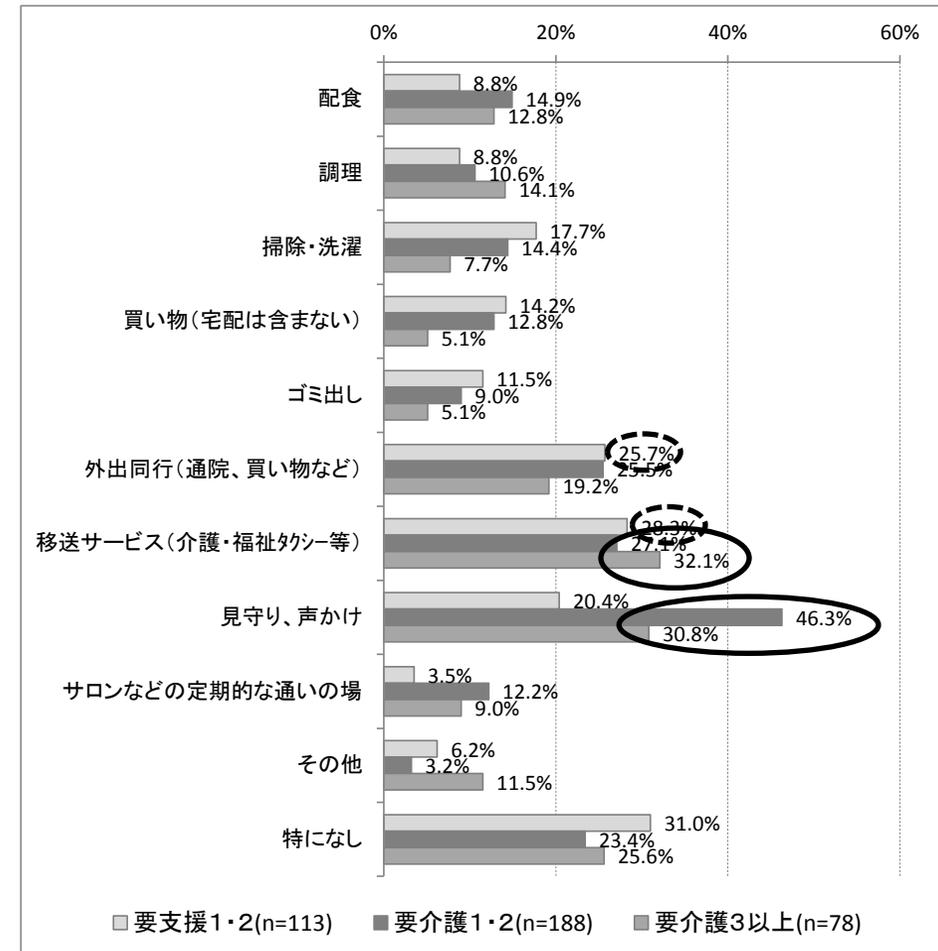
### 3 介護保険以外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

# 検討テーマ3：介護保険以外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討【集計結果の傾向①】

「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」は、要介護1以上では「移送サービス」「見守り、声かけ」が高い

- 要介護度別の「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみると、要介護1以上においては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「見守り、声かけ」のニーズが高い傾向がみられました。
- 要支援においては、「移送サービス(介護・福祉タクシー)等」「外出同行(通院、買い物など)」のニーズが高い傾向がみられました。

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



# 4 将来の世帯類型の変化に応じた 支援・サービスの提供体制の検討

# 検討テーマ4 : 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討【集計結果の傾向①】

要介護度の重度化に伴い、いずれの世帯類型においても「訪問系を含む組み合わせ」が増加

- 世帯類型別・要介護度別のサービス利用をみると、要介護度の重度化に伴い、いずれの世帯類型においても「訪問系を含む組み合わせ」の割合が増加する傾向がみられました。
- 「夫婦のみ世帯」では、「単身世帯」と比較すると、「訪問系」よりも「通所系・短期系」の割合が高くなる傾向がみられました。
- 「夫婦のみ世帯」では、他の世帯類型と比較して、「サービスの未利用率」が高い傾向もみられました。
- 「夫婦のみ世帯」に限らず、サービスが未利用の中重度の要介護者については、家族等の介護者の負担が過大となることも懸念されることから、必要に応じて要介護者とその家族等のところに向いての支援を推進していくことが必要であると考えられます。

図表 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

